

練馬区立大泉第一小学校 情報活用能力体系表

分類	項目	低学年	中学年	高学年
情報社会に参画する態度	情報社会の倫理	自分や人の考えやつくったものを大切にしようとする	情報にも、自他の権利があることを知り、尊重する	情報社会における自分の責任や義務について考えて行動する 個人の権利や知的財産権を尊重する
	健康・安全への知恵	情報機器を生活の中で正しく使う	メディアとの関わりを意識して正しく使う	メディアの特性を理解してそのよさを活かすことができる
	法の理解	人がつくったものを扱うときのルールがあることを知る	人がつくったものを扱うためのルールや決まりを守ることの社会的意味を知り尊重する	情報を適切に取り扱うための法律があることを知り、法律を守って生活する
	セキュリティ	人に教えてよい情報と教えてはいけない情報があることを知る	自分の情報を守るための仕組みがあることを知る	情報セキュリティの基本的な知識について理解できる
情報手段の基本的な操作等	入力	様々な手段（手書き入力、音声入力等）で入力できる	正確にローマ字入力できる	速く正確にローマ字入力できる
	アプリ	ミライシード（ドリルパーク、オクリンクプラス）を体験する	○ミライシード（ドリルパーク、オクリンクプラス）を活用する ○Canvaを体験する	○Canva、Figjam、スプレッドシートなどを効果的に活用する ○Padlet、Classroomを活用できる
	共同編集	共同編集を体験する	○共同編集（googleスライド等）で作品を作ることができる ○データを共有できる	○コメント機能を効果的に使い作品を作る ○方法を選択して（権限設定）データを共有できる
	基礎操作	起動やログイン等基礎的な操作ができる（タッチパッド操作、タッチ操作、カメラ）	設定やアクセシビリティを理解できる（明るさ、ブックマーク、スクリーンショット）	設定を工夫して活用できる（2画面・タブの整理） ・動画や画像の編集
問題解決の基礎等【探究学習】	課題の設定【問いの舟】 【調査の渦潮】	教師が提示した複数の課題から自分の課題を選択できる	教師が提示した大きな課題を基に自分の課題を設定できる 【中核となる方法】 ・予想の検討	疑問や興味・関心に基づいて、自ら課題を設定できる 【中核となる方法】 ・課題の共有
	情報の収集【調査の町】	○教師が与えた資料から情報を収集できる ○伝えるために必要な事柄を集めることができる 【中核となる方法】 ・五感、図書館、写真、動画、インタビュー	○教師が示した複数の方法から選択して情報を収集できる ○目的に合った情報を収集することができる 【中核となる方法】 ・インターネット検索、教科書、資料集	○目的を踏まえ、方法を選択したり組み合わせたりして情報を収集できる ○情報の信頼性や妥当性を吟味し、適切に情報を収集することができる 【中核となる方法】 ・アンケート調査、実験 ・メディアの特性理解
	整理・分析【分析の森】	教師が準備した枠組み（図表、思考ツール）で整理できる 【中核となる方法】 ・比較する（ウェビング、Yチャート、Xチャート）	教師が準備した枠組みから選択して整理・分析できる 【中核となる方法】 ・多面的にみる、思考ツール（ベン図、ピラミッドチャート、クラゲチャート）	目的を踏まえ、方法を選択したり組み合わせたりして情報を整理し、そこから傾向を読み取ったり因果関係を見付けたりすることができる 【中核となる方法】 ・関連付ける、分類する、抽象化する（マトリクス、情報分析チャート、ベルソナ） ・メディアの特性理解
	まとめ【まとめの草原】	相手に合った方法でまとめることができる 【中核となる方法】 ・絵と文 ・作文	相手や目的に合った方法でまとめることができる 【中核となる方法】 ・ポスター（Canva） ・新聞（ドキュメント）	相手や目的に合った方法で、より効果的なものとなるよう工夫（デザイン等）してまとめることができる 【中核となる方法】 ・サイト、レポート ・メディアの特性理解
	説明・発表【伝え合いの山】	相手に合った方法で説明・発表できる 【中核となる方法】 ・スピーチ ※資料を見せながら	相手や目的に合った方法で説明・発表できる 【中核となる方法】 ・プレゼンテーション（スライド） ※資料を指し示しながら	相手や目的に合った方法で、より効果的なものとなるよう工夫（デザイン等）して説明・発表できる 【中核となる方法】 ・説明、発表、対話の技法 ・メディアの特性理解
	振り返り	学習内容を振り返ることができる 【中核となる方法】 ・振り返りシート	学習内容と学習方法（学び方）の両面から振り返り、自らの学習を評価・改善できる 【中核となる方法】 ・振り返りの共有 ・探究のサイクルの認知	探究学習全体について学習内容と学習方法の両面から振り返り、自らの学習を評価・改善できる 【中核となる方法】 ・探究サイクルの枠組みによる振り返り ・単元や学期レベルでの抽象度の高い振り返り
情報技術	プログラミング	身の回りにコンピュータで命令されているものがたくさんあることに気付くとともに、簡単なプログラミングを体験する	アプリやプログラミングソフト等を使用し、簡単なプログラムを作ることができる	プログラミングを活用して、身近な生活で使える便利なものを作り、その手順を説明できる
	情報科学（データ分析）	データの保存や管理について知る	様々なデジタルデータの特性を知る	デジタルデータを編集、加工、複製できることを知る
	情報科学（情報通信技術）	コンピュータの簡単な仕組みや各部の名称を知る	インターネット（クラウド）の仕組みを知る	情報通信ネットワークの構成と、情報を利用するための基本的な仕組みを理解できる